

令和4年度 西東京市立学校 学校経営計画

学校名	西東京市立ひばりが丘中学校	校長名	井上雅子
-----	---------------	-----	------

教育理念及び教育目標

「広く国際社会を創造性豊かに たくましく生きる人をめざして」
高い学力と知性を身に付け、豊かな心を育み、広く社会に貢献できる人材を育てる学校を創る

＜教育目標＞

- 自ら学ぶ (問題解決能力の育成)
- 豊かな心 (人間関係形成能力の育成)
- 夢の実現 (グローバルに活躍できる実践力の育成)

学校の特徴

- 1 伝統に培われた母校愛に基づき、生徒、保護者、卒業生、地域とともに創るコミュニティスクールを目指す学校
- 2 個に応じたきめ細かい指導に努め、生徒の健全育成を図る学校
- 3 自主・自立の精神に基づき、生徒が主体的な活動を展開する学校
- 4 小学校との接続を重視する学校

目指す学校像 (学校像、児童・生徒像、教師像)

【目指す学校像】「地域、保護者の期待に応える学校」

- ・生徒の力を伸ばし、一人一人が主役となる学校
- ・生徒、保護者、地域から信頼を寄せられる学校
- ・組織力が高く、柔軟な対応力や確実な実行力のある学校

【目指す生徒像】「知・徳・体のバランスがとれた生徒」

- ・授業を大切にし、自ら考え、主体的に学ぶ生徒
- ・豊かな心を育み、夢の実現を目指して未来を切り開く生徒
- ・健康と体力増進に自ら努める生徒

【目指す教師像】「高い人権意識と実践的指導力をもつ教師」

- ・人権意識を高くもち、「西東京市あったか先生」を実践し体罰その他の服務事故ゼロに全力で取り組む教師
- ・学習指導力、生活指導・進路指導力、組織貢献力、外部との連携折衝力をバランスよく高め学び続ける教師
- ・共に高めあい学び続ける教師
- ・働き方改革を実践し豊かな生き方を示すことができる教師

学校経営の目標

1 中期経営目標（中間的課題）

～西東京市教育計画に基づいた教育の質の向上と活性化～

- (1) 質の高い授業の展開（「自ら学ぶ」「豊かな心」「夢の実現」）
日々の授業改善による「主体的・対話的で深い学び」と西東京市 GIGA スクール構想の実現。また ESD 教育により国際社会を創造性豊かに生きる人材の育成。
- (2) 小中一貫教育の推進とその充実（「自ら学ぶ」「豊かな心」「夢の実現」）
 - ・小学校との円滑な接続と学びの連続性を重視した教育課程の編成。
- (3) 健康でたくましい心と体の育成（「豊かな心」「夢の実現」）
 - ・自己肯定感が高く意欲的で主体的に行動する生徒及び集団の育成。
 - ・オリンピック・パラリンピック教育の「学校 2020 レガシー」の継承。
- (4) 学校組織力の向上
 - ・地域、保護者とともに創るコミュニティスクール。
 - ・固定制特別支援学級開級による人権教育および特別支援教育の強力な推進。

2 短期経営目標（1に基づく本年度の重点目標）

- (1) 授業改善及び研究・研修の充実による質の高い授業を実践する授業力の向上。
- (2) 日常的な小中の情報・行動連携による小中の連携事業の推進。
- (3) 的確で丁寧な初期対応と組織的で細やかな対応を展開できる生活指導。
- (4) 地域、保護者と協働するコミュニティスクールの整備。
人権教育および特別支援教育推進の中核を担う特別支援学級開級とその整備。

具体的方策

（短期経営目標を達成するための学校の具体的な取組）

1 授業改善（主体的、対話的で深い学びの実現）

- ・「主体的、対話的で深い学び」の実現により、生徒の「知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力の育成」「学びに向かう力・人間性の涵養」を図る。
- ・西東京市 GIGA スクール構想の基本方針に従い、一人1台のタブレット等の ICT を効果的に活用し、授業での教材の提示、調べ学習や発表や発信、家庭学習の充実を図り、生徒の問題解決能力、情報活用能力の育成を図る。
- ・全ての教科の話し合い学習では「ひばりスタンダード」を確立する。
- ・1 単位時間の学習過程で、「西東京市授業スタンダード」や ICT の効果的な活用を実践する一人1回以上の研究授業を実施する。
- ・「考え、議論する道徳」の授業では、他者と尊重しあう豊かな心を育む。
- ・総合的な学習の時間は、SDGS の 17 の目標から生徒一人一人が課題を設定し、体験学習やフィールドワーク、また生徒同士の学び合いにより課題解決学習に取り組む。

2 小中一貫教育の充実

- ・中原小学校と共に行った研究の成果である「西東京市授業スタンダード」の授業改善により9年間の学びの連続性を確立する。
- ・日常的な小中の情報・行動連携、小学生の中学校体験や出前授業、生徒に丁寧に寄り添う居心地の良い学級づくりで、小学校から中学校への円滑な接続を行う。

3 きめ細かい生活指導と外部との連携

- ・生徒一人一人を大切に「西東京あったか先生」を実践し人権教育を推進する。
- ・生活指導部、教育相談、特別支援委員会（校内委員会）による細やかな報・連・相と組織的な指導体制を確立する。外部の機関との行動連携により、生徒の健全育成と、虐待、不登校等の学校不適応の未然防止、早期発見、的確な対応を行う。
- ・新型コロナウイルス感染防止対応において、生徒の安全と健康、学びの保証を実現させるため、柔軟できめ細かな生徒の心と身体への支援を行う。
- ・オリ・パラ教育の「東京 2020 レガシー」を継承し、豊かなスポーツライフのための実践の充実を図る。

4 地域、保護者と協働し、学校組織力の向上

- ・コミュニティスクール開始に当たり、地域、保護者とともに、地域人材による教職員の業務改善を行うとともに学校課題改善に協働して取り組む体制を整備する。
- ・特別支援学級の開級では、通常学級の教職員とともに指導の強みを活かし合い、校内研修の充実を図り、人権教育および特別支援教育を推進する体制を確立する。
- ・SSS、副校長支援員の効果的な活用と経営支援部の充実による教員の働き方改革による業務改善を推進し、学校の組織力を向上させる。